



たいぎ 議会だより

No.202

2025
令和7年
10月発行

第3回定例会

公衆浴場脱衣所にエアコン設置P2～3

決算認定

令和6年度決算審査特別委員会で徹底審議P4～5

一般質問

5名の議員が6項目を問うP6～8

「大樹町の防災対策・体制」「小中学校のいじめ防止対策と教師の指導・研修」など

この表紙は、9月17日に行った広報広聴常任委員会による住民懇談会のものです。町民の皆さまからたくさんのご意見・ご要望をいただきました。詳しくは14ページをご覧ください。

発行／北海道大樹町議会
編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

の 脱 衣 所 に ン を 設 置



▲詳しくはこちら！

条例の一部改正や
補正予算など
24件を審議！！

9月8日から11日の4日間にわたり開催された、決算審査特別委員会での白熱議論を経て 令和6年度の各会計決算を認定

令和6年度決算認定	歳入総額	歳出総額
大 樹 町 一 般 会 計	91億7,971万7,974円	88億6,304万1,806円
大樹町国民健康保険事業特別会計	6億4,627万6,408円	6億4,193万4,281円
大樹町後期高齢者医療特別会計	1億 675万7,108円	1億 548万 487円
大樹町介護保険特別会計	7億5,010万9,849円	7億2,147万7,936円
大樹町介護サービス事業特別会計	4億4,574万3,250円	4億3,158万8,786円
大樹町水道事業会計	6億5,259万6,988円	7億9,793万6,418円
大樹町立国民健康保険病院事業会計	10億4,443万7,071円	10億5,514万5,728円
大樹町下水道事業会計	3億7,834万6,011円	4億9,466万9,555円

この決算額には子育て支援の拡充や、道路の補修工事、防災対策の強化など町民の皆さまの暮らしに直結する様々な取組が含まれています。

これらの事業が着実に進められたことを、議会としても確認しました。

監査委員審査意見書

9月2日の定例会初日、北林代表監査委員から地方自治法に基づく審査結果が公表されました。内容は以下のとおりです。

令和6年度一般会計・他各特別会計及び公営企業会計の決算審査は、関係諸帳簿及び証拠書類の照合と、住民福祉の増進という町行政の本旨に沿って執行されているかを延べ15日間で審査した。

いずれの調書においても法令に準拠して作成、所定の期間内に提出されている。計数に誤りはなく正確であり、かつ関係法令にも適合し、予算の執行も概ね適切に行われたものと認める。



北林 博美 代表監査委員

意見書の提出

経済常任委員会で審議された意見書は定例会最終日に全会一致で採択し、後日、関係大臣に意見書を提出しました。

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

計画的かつ長期安定的な道路整備や維持管理が進められるよう、必要な予算を確保すること。

耐震補強等の機能強化など、災害に強い道路ネットワークの整備を推進すること。

その他、国土強靱化の取組をより一層推進するための事項を要望する。

「意見書」とは…

地方公共団体の公益に関して、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。

国や北海道などの関係機関に意見書を提出して問題を解決するよう要望し、大樹町議会としての考えを表明することができます。

第3回 定例会

議案審議

9月2日～9月12日開催

公衆浴場 コ

9月2日 定例会初日

一般会計予算 **1億4,306万3,000円**を追加補正

脱衣所にエアコンを設置

公衆浴場運営費

暖房が故障し修理不能なため、冷暖房用エアコンを設置する費用を増額。

また、浴槽内の温度を制御する機器が故障したため、更新費用とあわせて、383万7千円を増額補正。



エゾシカの駆除費用を増加

有害鳥獣駆除事業

エゾシカの駆除頭数に大幅な増加が見込まれるため、1,100頭分の駆除費用660万円を増額補正。



問 菅 敏範 議員

当初計画では昨年度の実績に基づき892万円の計上であったが、現状の実績は。

答 藤谷農林水産課長

昨年度実績（駆除期間：4月1日～10月18日）は年間で1,063頭だったが、今年度7月末時点で1,034頭となっている。

種ばれいしょ生産を支援

畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業



JA大樹町の種じゃがいもの、り病率低減の取組に対し、補助金の割り当てがあったことから860万円を増額補正。

事業概要

■種ばれいしょの早期増産、り病率低減、品質低下防止の取組を支援。

■支援単価…

（り病率低減の場合）8,000円/10a
り病率の低減に取り組む作付面積が対象。

幸橋に歩道橋を新設

松並行政区の幸橋に歩道橋を新設するため、指名競争入札により工事業者を決定しました。

○この事業は、通学路の交通安全対策として、町内に
ある危険な場所の整備を目的としています。



工事名	契約金額	契約の相手方	工事内容	工期
幸橋歩道橋 新設工事	6,765万円	株式会社 高橋工務店	・歩道橋新設 ・歩道設置	令和7年9月4日から 令和8年3月31日まで

審査特別委員会



▲詳しくはこちら！

辻本監査委員を除く10名で徹底審議！

認定しました。このページでは、委員会での質疑と答弁の一部を掲載しています。



せん定の跡が見られる学習センター歩道



コスモールはオープンから23年が経過

植木撤去跡の整備がおろそかでは

問 西山 弘志 委員

生涯学習センターロータリーと歩道に、植木の根が残っている。玄関前は学習センターの顔であり、歩道はつまづいて危険であると町民の声があったが。

答 井上社会教育課長

玄関前の低木は一部除去を行ったが、残っている分は職員で管理をしている。歩道の樹木も職員がせん定など管理しているので、次年度何らかの形で整備を行いたい。

国民健康保険の均等割を町で負担しては

問 志民 和義 委員

未就学児の国民健康保険税均等割のうち、自己負担分である50%を町で負担し、未就学児分の負担をゼロにしては。

答 牧田住民課長

全国町村会、全国知事会でも要望している。均等割を全額免除している自治体もあるが、当町は基金が少ないためなかなか難しい。

道の駅の現状と今後の展望は

問 吉岡 信弘 委員

道の駅について、運営者の変更を検討しているとのことだが現在の状況と今後の展望は。

答 黒川町長

検討委員会でも、経営の体質から変えなければと言われたため、そこに着手する方向で進めている。今後の考えとして、まずは今ある道の駅で活性化をさせる。新しい店舗や新たに建設するというのはその後に考えたい。

スポーツ少年団への補助金を増額しては

問 船戸 健二 委員

各少年団で十分な熱中症対策を講じる体制づくりのため、補助金の増額を検討すべきでは。

答 沼田教育長

補助金だけを上げるという考えには至っていない。しかし、スポーツ少年団は総合的に支援していきたいので、必要であれば次年度以降検討したい。

一般会計決算

志民 和義 委員

滞納整理については、日頃から町職員が力を合わせ高い収納率を上げている。住民の問題は、住民の事情をよく知っている町職員で解決していくことが重要。また、昨年度は滞納整理機構への委託案件は0件であったことから、滞納整理機構への委託は必要ないとする。よって、本案に反対する。

反対討論

後期高齢者医療特別会計決算

志民 和義 委員

後期高齢者医療制度は、発足当初から高齢者を区別することになるとの批判が多く、かつての老人保健制度による事業運営で問題がなかったと考える。よって、本案に反対する。

反対討論

※今回、賛成討論はありませんでした。



播間 章浩 委員長

令和6年度決算

9月8日～9月11日開催 齊藤議長と

令和6年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の8会計の決算について審議し、



福祉センターは総務常任委員会でも調査予定



現在空室の教員住宅

公共施設の今後の運営をどう考える

問 安田 清之 委員

福祉センターなど公共施設では老朽化が進んでいるが、建物を建てるとなれば維持管理費がかかる。町の財政も考え、今後の運用を検討していただきたい。

答 黒川町長

整備したい気持ちはあるが、運営方法は今後の課題だと思っている。選択肢は多くあるので、検討していきたい。

小中学生の就学支援の実態は

問 西田 輝樹 委員

要保護・準要保護(※)認定の認定率と周知方法、及び途中認定の有無は。

答 伊勢学校教育課長

令和6年度の就学援助認定率は小学校5.6%、中学校9.1%。周知方法は、新年度前に申請用紙を各児童生徒、新入学児童の家庭に送付している。また、年度途中の認定は1件となっている。

大樹高校入学生への宿泊施設確保は

問 菅 敏範 委員

シェアハウスの整備を考えているとのことだったが、来年3月までに間に合うのか。

答 黒川町長

教職員住宅に空きがあり、リフォームすれば使えるので、一つは入居可能な状態にしたいと考えている。8年度の入学生に対して7年度中には準備をしておきたい。

有害鳥獣の被害に対する対策は

問 寺嶋 誠一 委員

シカやヒグマによる食害が多発し、今後も被害の拡大が予想されるが、今後についてどう考えているのか。

答 松木副町長

シカについては今回の定例会において、捕獲するための予算を増額補正した。駆除に関しては積極的に取り組んでいただいているので、しばらく様子を見る必要があると考える。

表決の分かれた議案

※播間委員長は表決に参加しません

議 案 名	播間 章浩	寺嶋 誠一	吉岡 信弘	西山 弘志	船戸 健二	杉森 俊行	西田 輝樹	安田 清之	志民 和義	菅 敏範	結 果
令和6年度大樹町一般会計決算認定	—	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
令和6年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定	—	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決

用語解説

※【要保護・準要保護】

経済的な理由で就学困難と認められる児童や生徒が、安心して学校に通えるよう援助を行う制度。

「要保護」は生活保護を受けている世帯、「準要保護」は生活保護を受けていないが就学困難と判断される世帯が対象。

町民の声を町政に届ける

寺嶋 誠一 議員 P6

◎大樹町の防災対策・体制について



菅 敏範 議員 P7

◎ヒグマによる人的被害及び食害の防止対策



吉岡 信弘 議員 P8

◎小中学校のいじめ防止対策と教師の指導・研修などについて



播間 章浩 議員 P7

◎震災・災害への備えについて



志民 和義 議員 P8

◎水道事業基本計画について
◎高齢者世帯へのエアコン設置助成について

◆一般質問とは◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は一問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

議員と町長が対面して、一つ質問をして、一つ回答をします。

・事前通告

質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

質問

大樹町の防災対策・体制について

答

平時の防災訓練と町民個別避難計画の策定が重要！



寺嶋 誠一 議員

Q1 大樹町の防災対策・体制について

質問 防災リーダー育成と自主防災組織、ボランティア団体などの育成について。

答（黒川町長） 昨年、当町において北海道主催の『防災リーダー育成講座』に行政区住民の2名と町職員で参加した。また毎年実施している大地震・大津波避難訓練で大樹漁業協同組合女性部や大樹町日本赤十字奉仕団の協力により災害ボランティア活動に参画していただいている。当町の自主防災組織は、2団体あり現在組織率は2・9%だが、町が把握している防災の取組をしている4行政区を含めると6団体で組織率は23・9%となっている。

質問 高齢者や障がい者などの要配慮者の支援体制について。

答（黒川町長） 町内の介護サービス事業所などの協力を得て、避難行動要支援者名簿の作成（R7年5月末現在）が終わり、現在は対象となる方を訪問し個別避難計画の策定を進め対象者74名中、24名分が策定済みである。

質問 男女共同参画の視点を取り入れた防災対策について。

答（黒川町長） 大樹町地域防災計画において、女性の参画を推進すると共に避難所の運営などで男女双方の視点などに配慮が必要と位置づけ、現在大樹漁業協同組合女性部2名を大樹町防災会議委員に委嘱し、ご意見をいただいている。今後は、市街地の方も含め全体の3割を女性で構成し、防災計画のみならず総合計画でも進めていく。

ここが聞きたい！

一般質問



はりま あきひろ
播間 章浩 議員

質問

震災・災害時の断水対策は？

答

井戸や消火栓の活用について検討したい

Q1 震災・災害への備えについて

質問 大樹町地域防災計画に関する町職員の浸透状況、町民への周知について。

答 (黒川町長) 職員に対しては地域防災計画に基づき、初動体制などをマニュアル化して示しているほか、避難訓練や防災研修への参加により浸透を図っている。町民に対しては住民懇談会などでの説明と広報紙に掲載してお知らせする。

質問 断水した場合の避難所などにおけるトイレの備え、キッチンカーの活用について。

答 (黒川町長) 簡易トイレを用意している他、移動式トイレカーなどの導入も検討したい。キッチンカーの活用については避難者への食事提供手段として、活用するための方策を考えていく。

質問 震災・災害時における停電、断水の想定と備えについて。

答 (黒川町長) 飲料水については9,700本(2ℓ)を備蓄しており、災害協定による企業からの飲料水の確保を図り、生活用水については井戸や消火栓の活用について検討したい。停電の備えは役場庁舎や主要となる避難所では発電機や蓄電池を設置しており、長期化する停電にも対応できる状況となっている。

質問 仮設住宅の建設場所と建設に向けての実施計画について。

答 (黒川町長) 仮設住宅の建設場所は、柏木町青少年会館跡地、大樹運動公園、大樹中学校グラウンド、川南会館跡地を候補地としている。

質問 避難道である町道浜大樹線の道道昇格に向けての進捗状況について。

答 (黒川町長) 水産業の振興、北海道スペースポート事業に連動する宇宙、観光産業の振興、地域生活の幹線道路など総合的に重要な道路として継続して道道昇格に向け要望していく。



すがなま としのり
菅 敏範 議員

質問

異常なヒグマ出没に対する具体策は

答

春熊含め捕獲数増を猟友会と相談したい

Q1 ヒグマによる人的被害及び食害の防止対策

質問 ヒグマが住宅地周辺に頻繁に出没し、人的被害や農作物被害が増加し、駆除対策が深刻な課題となっている。人身被害発生を防ぐため、町主催の諸行事参加者に対しどんな安全対策を考えているか。

答 (黒川町長) ヒグマと遭遇しない行動を徹底し、日頃から警戒を怠らないことが重要なので、目撃・出没情報に応じて、学校行事の延期や場所の変更、開催中止をしていく。

質問 収穫期を迎えた農作業現場における安全対策と登山者・釣り人など一般入林者に対する注意喚起及びゴミ処理対策の考え方は。

答 (黒川町長) ヒグマの目撃情報があり次第現地確認を行い、「熊出没注意」の看板設置と無線放送・町ホームページで注意喚起を行う。ゴミ処理については、野生動物を誘引することのないように周知していく。

質問 ヒグマ出没の的確な情報収集と猟友会との連携に基づく駆除対策の実施は。

答 (黒川町長) 猟友会の推薦で委嘱している「鳥獣被害対策実施隊」が、農地や山林の巡回、有害鳥獣の捕獲・駆除を担っている。的確な情報収集については、警察とも情報を共有しながら事故防止に努めている。

質問 9月から施行の「改正鳥獣保護管理法(※)」に対する猟友会との協議は。

答 (松木副町長) 猟友会との協議では「協力できる」となっているので、適切な判断に基づき対応していきたい。



志民 和義 議員

Q1 水道事業基本計画について

質問 水道事業基本計画策定が町の広報紙に掲載された。水道施設は49年以上が経過していることから、更新する必要があるといわれていた。そこで次の件について町長の考えを伺う。計画では十勝中部広域水道企業団から受水する方法に決定したが、決定に至った経過は。計画決定を住民に周知する方法について。特に住民懇談会を開催してほしいが町長の考えは。企業団から受水する際、送水管の途中に小水力発電設備を設置しては。現在の施設の取水ダムは自然景観の一部になっていると考え、ダムを残し、今後の活用を検討しては。

答（黒川町長） 現施設は老朽化で安定供給に苦慮していた。施設の更新と企業団からの受水を検討した結果、安定供給可能な企業団からの受水で決定した。計画決定の周知方法は広報たいき、町ホームページに掲載し住民懇談会は開催予定はない。小水力発電設備設置については、調査設計の段階で導入効果について検討を行う予定。取水ダムの今後の活用は、原状復帰が原則で現時点での活用予定はない。

質問 ブロック別懇談会の開催を求める。

答（黒川町長） ブロック別懇談会、町長と語る会は要望があれば開催する。

Q2 高齢者世帯へのエアコン設置助成について

質問 近年異常な高温が続く、熱中症になる方が増えていると聞く。エアコン設置には高額な費用を要することから、特に年金世帯へのエアコン設置に助成を検討しては。また、指定避難所でエアコンが設置されていないところへ設置しては。

答（黒川町長） 高齢者対象の熱中症対策はエアコンが有効と認識している。他の自治体の取組を見ながら今後検討する。指定避難所へのエアコン設置は移動式のエアコン導入も含め改善を指示している。

いじめをなくす 継続した全校集会を

質問

答

生徒会主催いじめ撲滅集会を実施予定
継続は学校と話し合う



吉岡 信弘 議員

Q1 小中学校のいじめ防止対策と教師の指導研修などについて

質問 2021年旭川と札幌で女子中学生がいじめを苦に自ら命を断つ痛ましい出来事がありました。札幌の訴訟では教師、学校、教育委員会のいじめ防止措置が不適切だったと謝罪した。大樹町のいじめ調査の実施と結果、指導状況は。

答（沼田教育長） 小学校3件、中学校4件を認知し、心のケアや再発防止を指導、現在は止んでいる。

質問 教師の研修は。またいじめ防止は初動での担任の生徒に対する細かな気付きが重要だと思うが。

答（沼田教育長） いじめの防止の研修に参加し、提出レポートを教職員間で共有。気づきの面では、教師の経験値の差はあるが、学校全体で対応している。

質問 再発防止のため、いじめをした児童生徒の適切な指導と保護者対応の取組は。

答（沼田教育長） いじめは絶対にゆるめられないという毅然とした態度で指導し、保護者面談も実施。

質問 クラスごとにいじめをなくす話し合いをし、全校集会で毎年発表させる考えは。

答（沼田教育長） 今年度、中学校生徒会主催の「いじめ撲滅集会」で各クラスのいじめ防止の標語を発表する予定である。継続は学校と相談する。

質問 隠へい問題、教育委員会と学校への指導は。

答（沼田教育長） 各学校が情報を隠すことがないよう風通しのよい体制で当たっていく。

質問 町総合教育会議でいじめ防止の協議はされたか、また町長の考えは。

答（黒川町長） 道教育庁といじめ情報共有、意見交換を行った。いじめは決してゆるめられない。子どもの健やかな成長のため、教育環境の整備に取り組む。

住民懇談会を開催します！

今年1月に行われた区長会議にて、「議会との住民懇談会を開催してほしい」との要望がありました。この要望を受け、議会運営委員会では住民懇談会の開催を決定しました。

日 時：11月～12月頃を予定
テーマ：「まちづくり・行政全般」（どんなことでも大歓迎！）
対 象：大樹町にお住まいの方
その他：昼間と夜間の2部構成です。
1部ごとに議員6名が参加します。



詳しい日程につきましては、決まり次第お知らせいたします。
どなたでもお気軽にお越しください！

追跡レポート



議会での質問事項について、
現在の状況を追いました。

令和6年12月 第4回定例会
菅 敏範 議員 一般質問

「今後の水道事業の運営について」

問

老朽化した坂下浄水場の更新と幹線管路の改修が課題では。

答

今年度策定する基本計画で方針を示す。

その後

7月10日、町公式ホームページにて基本計画が公開。



計画はこちらから
ご覧になれます！

令和7年3月 第1回定例会
西山 弘志 議員 一般質問

「合葬墓(合同納骨塚)の整備について」

問

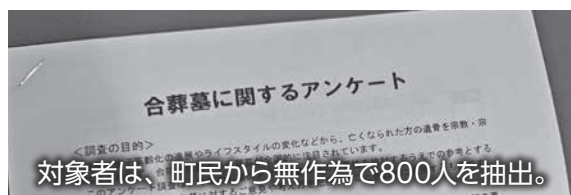
合葬墓についてのアンケート調査はいつ頃を想定しているのか。

答

近々取り組んでいくことで検討する。

その後

7月25日より、町民800人を対象にアンケートを実施。



して — 議会活動報告 —

活性化を図る研修会に議員11名が参加しました。

※内容を要約して掲載しています。

議員研修会

7/9 生涯活躍のまち『ココルクえべつ』を視察

(江別市)

■概要

- ・高齢者が都市部へ流出するという課題を解決するべく、2017年に江別版「生涯活躍のまち」構想(※)を策定し事業が開始。2021年9月に全面オープン。
- ・特別養護老人ホーム、障がい者グループホーム、保育所、就労支援A型事業所といった施設を備えている。

(※)「生涯活躍のまち」構想…「都市圏の中高齢者が地方に移り住み、多世代の住民と交流しながらアクティブな生活を送り、必要に応じ医療・介護を受けられる地域づくり」を目指すもの。

■主な取組

- ・就労支援A型事業所やとらふぐ養殖場による障がい者雇用の創出。
- ・多世代交流サロンの定期開催により、子どもからお年寄りまでをつなぐことができる場所づくり。
- ・施設内広場でのイベント開催による多世代交流、地域連携。
- ・市内4大学と連携し、ボランティア活動の受け入れやセミナーを開催。

■主な施設

- ・特別養護老人ホーム
- ・サービス付き高齢者向け住宅
- ・介護老人保健施設
- ・障がい者グループホーム
- ・就労支援A型事業所 (パン工房、レストラン)
- ・とらふぐ養殖場
- ・企業主導型保育所 他

■議員報告 (一部抜粋)

○志民 和義 議員

- ・広い敷地に老人ホーム、介護保険施設、グループホームなどを備えている総合的な施設で、介護ばかりでなく大きな雇用の場となっている。
- ・交流の取組については日常的に訪問できる場所は少ないので、今後このような施設は歓迎されると考える。



とらふぐ養殖場では同施設内の温泉を活用



サービス付高齢者向け住宅(食堂)

質の高い議会をめざ

7月8日、9日の2日間、札幌市で議員の資質の向上と議会活動の

議員研修会

7/8 北海道町村議会議長会 議員研修会

(札幌国際コンベンションセンター)

■概要

「地方議会における議員の多彩化に向けて

ー地方社会の鏡としての議会を考えるー」

講師：西南学院大学法学部 教授 勢一 智子 氏

- ・今の町村は、議員の8割が男性、約7割が60歳以上。人材が偏っており、大勢のための社会が実現されにくい。
- ・女性や若者が政治に参加できるようにして、人が地方に残る社会づくりを目指すべき。

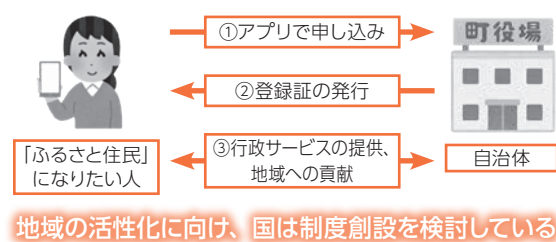


「人口減少社会を生き抜くために」

講師：人口戦略会議 副議長 増田 寛也 氏

- ・自治体の人口減少対策として、業務の見直しが考えられる。一定の仕事は近隣の町村と連携して負担を減らし、住民へ時間を使うべき。
- ・ふるさと住民登録制度(※1)を活用し、関係人口(※2)を増やすべき。そのために北海道の魅力を活かしたまちづくりを進めるべき。

「ふるさと住民登録制度」イメージ



(※1) …自分が住んでいない地域へ任意で住民登録ができる制度。

(※2) …移住でも観光でもなく、過去の滞在やルーツといった多様な関わりを持つ人口のこと。

■議員報告 (一部抜粋)

○船戸 健二 議員

- ・全国的な地方議員の概況、各地域での議会改革事例など、議会改革に取り組む上で参考となる事が多かった。
- ・研修で触れられた無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について、思い込みの力は強く、自身で意識しづらい。偏りがあることの再認識、解消が重要。

○吉岡 信弘 議員

- ・講師によると全国で女性の模擬議会を開催している市町村がかなりあると示された。大樹町でも女性模擬議会や若者模擬議会を開催してはと考える。
- ・出生率低下や東京への一極集中で人口減少が続いている。国が出生数を増加させるための強力な対策をとる必要がある。出生数が増えない状況では、水面下で人の奪い合いが続くと考える。

して — 委員会活動報告 —

解決を目標とした所管事務調査を行っています。

※内容を要約して掲載しています。

広報広聴常任委員会 | 委員研修会 (8/19)

研修目的

議会だよりの編集に係る知識と技能の習得を行うため、北海道町村議会議長会 議会広報研修会に参加

ホテルポールスター札幌にて行われた議会広報研修会に委員3名が参加しました。

■講演内容

講師：議会広報サポーター 芳野 政明 氏

『読者に読まれる議会報の企画と編集』

- ・現在の自治体選挙は投票率の低下、議員のなり手不足など議会の信用性が問われている。議会の信用性を取り戻す条件の一つとして、広報広聴活動が必要。
- ・編集の基本方針を作ることが大切。方針や編集方法を引き継いでいくことで、質の高い議会広報を将来にわたって作成できる。

『議会広報クリニック』

- ・他町村にて発行されている議会広報を添削し、先の講演で挙げられた手法をどのように活かすか話された。(対象町村…増毛町・苫前町・天塩町)
- ・表紙⇒読者の目を引く表紙を作る。
- ・本文⇒グラフや写真をつけ、見出しを目立たせることで紙面に「ツカミ」を作る。

■議員報告

○志民 和義 副委員長

- ・議会と住民が身近に感じられないという課題を解決する方法の一つに議会広報があると考える。
- ・今回の研修で基本となる表紙、見出しと写真、本文を簡潔に、議会広報に住民と登場させるなど心して編集にあたっていきたい。



○菅 敏範 委員

- ・読者に親しまれ読まれる議会だよりを作成することは基本と聞かされたが、実際には簡単ではないと改めて痛感した。
- ・大樹の議会だよりも、他町村と比較してそれほど劣っていないと認識したが、テキストやコンクルールの優秀紙を参照し、町民に「読まれる」議会だよりをめざすことが大切。

○安田 清之 委員

- ・「開かれた議会」をつくるためにも議会広報の役割は重要性を増している。
- ・他市町村の議会広報が多く紹介されていたので、今後編集をしていくうえでレイアウトなどを参考にしたい。講演内で挙げられた「紙面のツカミ」を追及すれば、多くの人に読まれる広報紙へと近づけるのでは。

今回の研修・所管事務調査で得た課題を今後の議会活動に活かし、より地域課題に即した質の高い議会運営を目指します。

暮らしやすい町をめざ

大樹町議会では町政の実態や課題を調査し、委員会活動での提起・

経済常任委員会 | 町営牧場の現状と今後（7/29）

調査目的

経営状況・運営について調査し、利用実態や収支を把握して今後の町営牧場のあり方を検討する。

■概要

- ・昭和49年に開設。標高約400m前後の緩やかな傾斜面に732ヘクタールの牧草地が広がっている。



牧場を視察し、現状を確認



その後、担当職員へ聞き取り調査

■調査報告

- ・直近3か年は、人件費を含め年間1億円近くの赤字であり、今後黒字まで改善するには程遠い。
- ・維持管理費の内訳からも施設設備の限界が見られる。今後も多額の修繕費及び更新費用が予想される。
- ・牧場技術アドバイザーの指導や技術的改善により、飼料費の削減や妊娠鑑定時受胎率の向上が見られた。これらの飼育管理技術は高く評価できる。

■担当課への質疑・回答

Q.使用料、飼料費などについて、農協との過去の協議状況は。

A.書面などでの協議はなし。各種料金については、組合員と同価格である旨確認済み。

Q.十勝農協連湧洞牧場は利用できないか。

A.大樹町農協が十勝農協連の会員であるため、預託することに問題はない。

湧洞牧場での受け入れ可能頭数は1,800頭。現時点で約1,650頭を飼養しているとのことなので、預託可能なのは150頭程度。

■委員報告（一部抜粋）

- ・実際に町営牧場を視察することにより、施設の老朽化や機械設備の修繕及び更新が必要なものが多く見受けられ、毎年多額な経費が計上されていることにやむを得ない部分があると感じた。
- ・利用戸数減少、家畜伝染病の有無、施設の老朽化を考えると、当初の町営牧場の設置目的である「大樹町の畜産振興の基盤確立を図り、農業経営の安定に寄与する」は十分達成されたと考える。

まとめ

- ・利用数減少、施設の老朽化、赤字運営から、現行運営の継続は困難。これらの課題を踏まえ、運営を抜本的に見直すべき。
- ・農業振興と財源有効活用の観点から、十分な議論が必要。また、牧場運営委員会や農協などとの協議や、協力体制の強化も重要。
- ・町営牧場は長年町内の畜産業の発展に貢献してきたが、現在の運営状況と利用実態を踏まえ、今後のあり方について早期に見直しを検討されるよう強く望む。

広報広聴常任委員会活動報告

住民懇談会

『町や議会に対する要望・提言』をテーマに懇談

9月17日、全町民を対象に懇談会を開催しました。6名の方々にご参加いただき、町や議会へのご意見・要望をいただきました。懇談の内容を抜粋してお知らせします。

■住民の皆さんの声

- ・物価高の影響により、生活が苦しい人がいる。そういった人をどう救済すれば良いかが悩み。
- ・**高齢者の方より**：これからの社会では、大樹町においても高齢者が多い社会へとっていく。
- ・お墓の維持管理が難しい。
- ・町内会費をもらえていない人への広報紙配付について、町はどのように対応しているのか。
- ・町のホームページを見ることができない人がいる。
- ・**子育て世帯を中心に**：危険な道路が町内にいくつかある。(鏡町公営住宅内道路、学習センター付近の六差路)



■町・議会への具体的な提言

- ・生活が苦しい人への手助けを町で継続的に行ってほしい。
- ・高齢者が帯広まで通える交通手段の確保(国鉄広尾線の復活)をしてほしい。
また、高齢者が集団で暮らし、生活を助け合えるような集合住宅を建設してほしい。
- ・お墓については、町が共同墓を建設・運営する方法が無難なのでは。
- ・町や教育委員会などで委嘱している委員が交代したときには、広報紙でもお知らせしてほしい。
- ・鏡町住宅内道路にはカーブミラーを、六差路には歩道や横断歩道を設置してほしい。

■委員会報告 ※一部抜粋

- ・町と議会以外に対する要望などがあったが、このことについては町の担当課を通して話していただくこととした。
- ・帯広市への通院手段確保は喫緊の課題。早急な対策が求められる。
- ・高齢者が安心して暮らせる施設はないか検討が必要と意見をいただいた。
- ・住民懇談会で示された課題は、現実的かつ切実である。議会としてその声を受け止め、今後、地域課題に即した具体的な対処と実行を町と共有し協議していく。

懇談内容は議会と町で共有しています。
いただいた意見や要望は、議員の一般質問や常任委員会の所管事務調査などの議会活動に活かし、より地域課題に即した議会運営を目指します。

一目でわかる 審議結果



全会一致の議案

第 3 回 定 例 会	令和6年度健全化判断比率 監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告。	報告済
	令和6年度資金不足比率 監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告。	報告済
	人権擁護委員の候補者推薦 委員には五十嵐 忠孝氏、白戸 妙子氏の推薦が適任。	適 任
	大樹町固定資産評価委員の選任 委員に前田健次氏を選任することに同意。	同 意
	大樹町教育委員会委員の任命 委員に神山良仁氏を任命することに同意。	同 意
	大樹町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正	原案可決
	大樹町職員の育児休暇等に関する条例の一部改正 育児・介護休業法が改正されたことにより、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正が10月10日から施行することによる条例の一部改正。	
	北海道市町村総合事務組合規約の変更	原案可決
	北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更	
	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更 組織の解散により、1組合が各規約から脱退することによる規約の変更。	
	令和7年度大樹町一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ1億4,306万3千円を追加。	原案可決
	令和7年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ3,636万円を追加。	原案可決
	工事請負契約の締結 ※ 幸橋歩道橋新設工事の請負契約を6,765万円で締結。	原案可決
	令和6年度大樹町一般会計決算認定 令和6年度歳入91億7,971万7,974円、歳出88億6,304万1,806円の執行について認定。	認 定
	令和6年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算認定 令和6年度歳入6億4,627万6,408円、歳出6億4,193万4,281円の執行について認定。	認 定
	令和6年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定 令和6年度歳入1億675万7,108円、歳出1億548万487円の執行について認定。	認 定
	令和6年度大樹町介護保険特別会計決算認定 令和6年度歳入7億5,010万9,849円、歳出7億2,147万7,936円の執行について認定。	認 定
	令和6年度大樹町介護サービス事業特別会計決算認定 令和6年度歳入4億4,574万3,250円、歳出4億3,158万8,786円の執行について認定。	認 定
	令和6年度大樹町水道事業会計決算認定 令和6年度歳入6億5,259万6,988円、歳出7億9,793万6,418円の執行について認定。	認 定
	令和6年度大樹町立国民健康保険病院事業会計決算認定 令和6年度歳入10億4,443万7,071円、歳出10億5,514万5,728円の執行について認定。	認 定
	令和6年度大樹町下水道事業会計決算認定 令和6年度歳入3億7,834万6,011円、歳出4億9,466万9,555円の執行について認定。	認 定

次のページへ続く

第3回定例会	福祉センターの維持管理運営について（陳情）		継続審査
	前回の調査から年数が経過していることから、「現在の福祉センターの利用状況、町民の要望について再度調査検討を行うべき」との意見で一致したため、継続審査。		
	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書		原案可決
	道路整備・維持管理に必要な予算の確保、道路ネットワークの整備の推進などを求める。		

※ 5,000万円以上の工事請負契約の締結は議会の議決が必要です！

前回の議会だよりNo201号の内容に一部誤りがありましたので訂正いたします。

10ページ 会議・行事出欠状況の表中

6月26日	第27回広尾町・大樹町議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
↓												
6月26日	第2回議会改革に関する調査特別委員会	○	○	—	—	—	○	—	○	○	—	○
	第27回広尾町・大樹町議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

YouTubeで議会中継をご覧いただけます！

本会議や予算・決算特別委員会はライブ中継しています。
ライブ中継を見られない場合でも、録画中継をご覧いただけます。
スマートフォンやタブレット、パソコンなどで気軽に議会を傍聴
できますので、ぜひご利用ください。
大樹町議会チャンネルをチャンネル登録すると、ライブ中継や
録画中継が公開される際に通知を受け取ることができます。

大樹町議会
チャンネル



次の定例会は 12月です

ぜひ気軽に傍聴にお越しください

詳細は議会事務局へお問い合わせください

TEL 6-5035

請願・陳情は どなたでもできます

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、国や町の事務などに関する請願・陳情を処理することとなっています。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として公の機関に対し、要望する行為で、紹介議員が必要となります。陳情も同様に扱われますが、紹介議員は必要ありません。

広報広聴常任委員会



委員長	吉岡 信弘
副委員長	志民 和義
委員	菅 敏範
委員	安田 清之
委員	西田 輝樹
委員	辻本 正雄

編集後記

議会だよりを発行する目的は、議会と住民がより身近になること、議会のことを住民に広く早くお知らせすること。そのほかに、議会は住民や団体との懇談、ネット中継と近年ではかなり身近になっていっていると考えます。

しかし議会は何をしているのかよく見えないとの声を聴く。その原因は住民の要望が地方議会や地方政治、国政に反映されないことが多くなっているからではないか。そのような住民の声を一般質問などで町や北海道、国に伝えることが地方議会の役割と考える。

副委員長 志民 和義